

電 気 工 学 科		英 語					
学 年	第3学年	担当教員名	中 村 時 人				
単 位 数 ・ 期 間		2単位	通 年	週 当 り の 開 講 回 数	1回	必 修	履 修 単 位
授業の目標と概要		テキストの説明や練習問題を通して、構文という支店から英文を理解し、簡潔かつ適切で論理的な英語の文章を作成したり、英会話等によるコミュニケーションのための基礎的な英語力の定着を目指す。					
		釧路高専目標	F:100%		JABEE目標	f	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		基本的な英文法を理解していることが必要である。 单元ごとに適宜小テストを実施する。					
到達目標		簡潔なものでも、適切かつ論理的な英語の文章が作成できる。 平易な英語の文章を適切に読み取ることができる。					
成績評価方法		定期試験の成績の平均を70%、小テストの成績の平均を30%として、その合計点を本授業の成績とする。授業への参加態度も考慮する。(習熟度授業の成績も含めた「英語」の成績評価の算出方法については、習熟度授業のシラバスを参照のこと。)					
テキスト・参考書		テキスト:基礎からの英語構文90(第一学習社) 参考書:コンパクト英語構文(数研出版)					
メッセージ		「暗唱例文集」の英語が口をついて出て来るようになったら、英語力は相当ついている。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
1章 .it を含む構文 2章 .助動詞を含む構文 3章 .不定詞を含む構文				各構文の意味を理解し、その構文を用いて適切な英文を作ることでコミュニケーションのための基礎力の定着を図ることができる。			
前期中間試験				実施する			
4章 .分詞を含む構文 5章 .動名詞を含む構文 6章 .関係詞を含む構文 7章 .比較構文				各構文の意味を理解し、その構文を用いて適切な英文を作ることでコミュニケーションのための基礎力の定着を図ることができる。			
前期期末試験				実施する			
8章 .否定構文 9章 .名詞中心の構文 10章 .時を表わす構文				各構文の意味を理解し、その構文を用いて適切な英文を作ることでコミュニケーションのための基礎力の定着を図ることができる。			
後期中間試験				実施する			
11章 .原因・理由を表わす構文 12章 .目的・結果を表わす構文 13章 .譲歩を表わす構文 14章 .条件・仮定を表わす構文				各構文の意味を理解し、その構文を用いて適切な英文を作ることでコミュニケーションのための基礎力の定着を図ることができる。			
後期期末試験				実施する			